

日本堆積学会 2012 年札幌大会 プログラム

＜日 時＞ 2012 年 6 月 15 日（金）～18 日（月）

15 日（金）：ショートコース「堆積物供給源の鉱物学的・有機堆積学的推定法」

16 日（土）：個人講演（基調講演含む）、総会議事、懇親会

17 日（日）：個人講演（特別講演含む）、最優秀口頭・ポスター発表の表彰、堆積学トーク・トーク

18 日（月）：巡検「北海道新生代中期の陸成～海成層の堆積相」（日帰り）

＜会 場＞ 北海道大学理学部 5 号館 2F 大講堂・同ロビー他

<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/guidemap.pdf>

6 月 15 日（金）

＜ショートコース＞ 「堆積物供給源の鉱物学的・有機堆積学的推定法」

日時・場所：北海道大学大学院地球環境科学研究院 実験室、

地球環境科学研究院 A-101 室、A-208 室

講師：山本正伸氏（北大）・入野智久氏（北大）・沢田健氏（北大）

6 月 16 日（土） 北海道大学理学部 5 号館 2F 大講堂・同ロビー他

8：40-8：45

会長挨拶

伊藤 慎

＜口頭発表の部＞

【座長：清家弘治】

01 8:45-9:00 ペルム紀後期、生物大量絶滅層準（G/L および P/T 境界）堆積岩のケロジェン分析

緒方秀仁・沢田 健・海保邦夫

02 9:00-9:15 尻屋崎地域に分布するジュラ紀付加体砕屑岩類の形成過程

木村 翔

03 9:15-9:30 モンゴル南東部白亜系湖成層の鉱物・堆積有機物組成から見る湖水位および湖生物生産の変動：OAE1a-1b 期における陸域気候変動復元 に向けて（概報）

長谷川 精・安藤寿男・長谷川卓・太田 亨・山本正伸・長谷部徳子・村田崇行・Li Gang・IchinnorovNiiden・鈴木徳行・入野智久・池田昌之・Heimhofer Ulrich

04 9:30-9:45 モンゴル南東部白亜系湖成層の鉱物・全岩化学組成を用いた湖水面変動の解

読

新谷広紀・太田 亨・安藤寿男・長谷川 精・長谷川 卓・山本正伸・
長谷部徳子・村田崇行・Li Gang・Ichinnorov Niiden

休憩 (9:45-9:55)

【座長:北沢俊幸】

- 05 9:55-10:10 北中国における下部白亜系の古気候解析と熱河動植物群進化の関係
太田 亨・Li Gang・平野弘道・坂井 卓・香西 武・吉川武憲
- 06 10:10-10:25 IODP, Expedition317, ニュージーランドカンタベリ沖, 陸棚-斜面掘削の概
要と海水準変動記録解析の可能性
保柳康一・IODP, Exp.317 日本人乗船・陸上研究者
- 07 10:25-10:40 Comparative study on sedimentary facies and other proxy records from the Siwalik
Group, Karnali area, Nepal Himalaya: Implications for paleoclimate and tectonics
Sigdel, A., Sakai, T., Ulak, P.D., Gajurel, A.P., Upreti, B.N.
- 08 10:40-10:55 温帯表層土壌を用いた MBT/CBT 指標の確立と琵琶湖堆積物への適用
味岡 拓・山本正伸・竹村恵二・林田 明

休憩 (10:55-11:05)

【座長:伊藤拓馬】

- 09 11:05-11:20 The temperature difference between TEX86-H and UK37 as a potential upwelling
index in the eastern equatorial Pacific
Hasrizal bin Shaari, Masanobu Yamamoto, Tomohisa Irino
- 010 11:20-11:35 Application of biomarkers to environmental reconstruction in the western Arctic
Ocean
Yu-Hyeon Park, Masanobu Yamamoto, Seung-Il Nam, Leonid
Polyak, Kazuhisa Chikita, Naomi Harada
- 011 11:35-11:50 深海を沈降するアーキア起源有機分子
山本正伸・嶋本晶文・福原達雄・田中裕一郎・石坂丞二

【座長:泉 賢太郎】

＜ポスター発表ショートトーク: 奇数番号の講演＞ 11:50-12:15

1件あたりの講演は1分以内とします。

昼休み (12:15-13:00)

＜ポスター発表の部＞ 13:00-14:00

ポスターは6月16日(土)8時より掲示できます。6月17日(日)の17時00分までに撤収をお願いします。

- P1 釧路市岩見浜に分布する始新統春採層の堆積岩石学的特徴
鮎沢 潤・石川孝織
- P3 粗粒セディメントウェーブ堆積物の形態と内部構造
高岡進一・時井良治・伊藤 慎
- P5 タービダイト砂岩に認められるカレントリップラミナのクライミング様式の空間的変化
石澤慧太・伊藤 慎
- P7 東部南海トラフ海域のメタンハイドレート胚胎層に含まれるタービダイト泥の浸透率
伊藤拓馬・江川浩輔・皆川秀紀
- P9 隕石衝突津波による火星表面の巨礫再堆積現象に関する数値実験
飯嶋耕崇・後藤和久・箕浦幸治
- P11 上部外浜堆積物基底の粒度ギャップ：サーフダイアステムの形成実験
仁井谷 寛・増田富士雄
- P13 北海道中央部に分布する幌加別層の堆積環境からみた始新世の巨大湖沼
角 勇樹・鈴木徳行・長谷川 精・井上 武
- P15 北海道始新世非海成堆積物にみられる陸源有機物の分別運搬堆積作用
井上 武・鈴木徳行・長谷川 精・齋藤裕之
- P17 大阪平野，上町台地西縁の縄文海進による埋没波食地形のロックコントロール
坂本隆彦・増田富士雄
- P19 造波水路実験で形成された前浜－上・下部外浜相の空間分布
山口直文・関口智寛
- P21 ニュージーランド沖における IODP 第 329 次掘削試料の岩相層序，地球化学組成，鉱物組成：南太平洋における白亜紀－第三紀の古環境変遷
下垣友佑・太田 亨・IODP 第 329 次掘削航海研究者一同
- P23 堆積環境に適応した海洋底生生物の摂食様式：浅海堆積物と漸深海堆積物から産出する生痕化石 *Phymatoderma* の比較
泉 賢太郎
- P25 本邦珪質岩における石油・天然ガス貯留システム
辻 隆司・早稲田 周・横井 悟
- P27 インド北東部に分布する，始生代～前期原生代スウィンプーム堆積盆の発達史
山田恭平・太田 亨・Madzumder Rajat
- P29 グローバルな傾向と矛盾する四国海盆新生代末期の黄砂フラックス変動
齋藤 有・石川剛志・谷水雅治・村山雅史・IODP Expedition 333 Scientists
- P31 半遠洋性泥に対する海底地震・洪水堆積物の特徴，有機炭素分析による検討

- 大村亜希子・池原 研・芦 寿一郎・片山 肇・白井正明
- P33 沖積層タイプのひとつとしての砂州堆積物をもつ大阪・淀川流域のサクセッション
伊藤有加・増田富士雄
- P35 南東太平洋 ODP1237 地点への漸新世以降の火山灰および陸源碎屑物供給パターン変動
野間恵理子・入野智久・Hasrizal Bin Shaari・山本正伸
- P37 移動可能粒子のない場に流入する砂粒子によるデューンの形成過程
谷口圭輔
- P39 小型平面水路で みられる河川砂州地形の変化
岡崎浩子・郭 栄珠
- P41 内側陸棚上の堆積作用と地殻変動—函館平野西縁断層帯海域延長部—
仁科健二・内田康人・楮原京子・久保尚大・半場康弘
- P43 更新統小笠層群相当層の鉱物組成と地球化学組成：特に泥質堆積物について
江川浩輔・西村興男・昆 慶明・鈴木清史・伊藤拓馬・成田英夫
- P45 仙台沖地震／津波堆積物の堆積過程
池原 研・宇佐見和子・入野智久・ロバートジェンキンス・
芦 寿一郎・渡辺 豊・氏家 崇

<口頭発表の部>

【座長：鈴木徳行】

- 012 14:00-14:40 **基調講演：**日本における非在来型炭化水素資源の可能性、特にシェールガス・オイルについて

横井 悟

【座長：伊藤有加】

- 013 14:40-14:55 前弧堆積盆から横ずれ堆積盆へ：北海道道央～道北（空知—蝦夷帯・石狩—天塩帯）の始新世～中新世堆積盆群の形成メカニズム試論

高野 修・伊藤康人・楠本成寿

休憩（14:55-15:05）

- 014 15:05-15:20 女川層・寺泊層石油根源岩の形成要因はテクトニクスか？

中嶋 健

- 015 15:20-15:35 中期白亜紀海洋無酸素事変(OAE)層準における堆積岩のクロジェン分析：陸源有機物輸送の評価

安藤卓人・沢田 健・岡野和貴・小刀 禰宅朗・横山 龍・西 弘嗣・高嶋 礼詩

- 016 15:35-15:50 Variability in provenance of suspended quartz of the Yangtze River during these 5 kyrs reconstructed from the Delta core

Ke Wang, Keita Saito, Ryuji Tada, Hongbo Zheng, Tomohisa Irino

休憩（15:50-16:00）

【座長：齋藤有】

017 16:00-16:15 北海道河川の懸濁粒子・堆積物のバイオマーカー分析による陸上植物由来有機物の輸送・堆積過程の検討

沢田 健・澤井健之・関 宰

018 16:15-16:30 夕張地域下部白亜系、海洋無酸素事変相当層準の堆積岩のバイオマーカー分析

中村英人・沢田 健・高嶋礼詩

休憩（16:30-16:40）

＜総会＞ 16:40-17:40

＜懇親会＞ 18:00-20:30 （生協中央食堂）

6月17日(日)

<口頭発表の部>

【座長:山口直文】

019 8:45-9:00 ネパール・カトマンズ盆地の更新統に見られるデルタフロント上で堆積した
津波堆積物

酒井哲弥・田端英雄・Gajurel, A.P., Upreti, B.N.

020 9:00-9:15 三陸沖日本海溝の堆積物の岩相と層序:「みらい」MR12-E01 及び「ゾンネ」
SO219A 航海速報

池原 研・金松敏也・Strasser, M., Fink, H., Wefer, G., 佐藤智之・
宇佐見和子・新井和乃・長橋良隆・MR12-E01 及び SO219A 乗船研究者

021 9:15-9:30 1792 年の島原大変によって生じた有明海における津波堆積物の特徴

市原季彦・下山正一・山中寿朗・堤 裕昭

022 9:30-9:45 前弧海盆タービダイトの堆積システム:3次元シミュレーションによる検討
江川浩輔・古川俊子・鈴木清史・成田英夫

休憩 (9:45-9:55)

【座長:松田博貴】

023 9:55-10:35 **特別講演:**ガスハイドレート 25 年:「ガスハイドレート仮説」の“進化”と資源
戦略

松本 良

【座長:谷口圭輔】

024 10:35-10:50 山形盆地上部中新統本郷層大谷部層の堆積環境

金 光男・保柳康一

休憩 (10:50-11:00)

025 11:00-11:15 地表露出に伴う初期続成作用とドロマイト化作用による炭酸塩岩貯留岩の
孔隙率・浸透率の改善と劣化—南大東島大東層を例として—

松田博貴・八木正彦・島津 崇・橋本直明・水永泰介

026 11:15-11:30 薄層タービダイトにみられる堆積同時性変形構造の認定:北海道東部に分布
する上部白亜系厚岸層における検討

石丸卓哉・成瀬 元

027 11:30-11:45 海底堆積物における堆積残留磁化の獲得機構

菅沼悠介

【座長:船引彩子】

<ポスター発表ショートトーク: 偶数番号の講演> 11:45-12:10

1 件あたりの講演は1分以内とします。

昼休み (12:10-13:00)

<ポスター発表の部> 13:00-14:00

ポスターは6月16日(土)8時より掲示できます。6月17日(日)の17時00分までに撤収をお願いします。

- P2 陸棚環境で形成された fluid mud 堆積物の堆積構造の特徴化
戸田数馬・西田尚央・伊藤 慎
- P4 ジャワ島ボゴール堆積盆地に形成された中部中新統ジャティルフル層に認められるスランプスカーから斜面チャネルへの発達過程
アブドロヒム・伊藤 慎
- P6 半遠洋性泥岩の不均質性評価：房総半島下部更新統 O7 火山灰鍵層層準の解析例
三井麻由・伊藤 慎
- P8 北海道厚真川を遡上した 3・11 津波の堆積物の特徴
太田勝一・乾 哲也・嵯峨山 積
- P10 フーリエ解析とフラクタル次元による碎屑物粒形の定量方法と堆積場判別方法の提示
鈴木慶太・太田 亨
- P12 四国に分布する高熟成泥岩・低度泥質変成岩中の残留ガス組成
前本謙太・鈴木徳行・齋藤裕之・高橋幸士・島田昌英
- P14 丸氷を使った砂岩の続成作用に関する疑似実験：薄片観察による検討
廣木義久
- P16 中国北部，遼寧省・黒竜江省における前期白亜紀の後背地風化過程と古地理・古気候の関係
田中聡之・太田 亨・平野弘道・坂井 卓・Li Gang
- P18 北海道，東北日本の泥岩・珪質泥岩に含まれる残留ガスの続成変化
星野太一・鈴木徳行・齋藤裕之・高橋幸士
- P20 2011 年東北地方太平洋沖地震津波による沿岸低地での堆積作用
山田昌樹・藤野滋弘
- P22 BIW08-B コアのリグニン組成変動による過去 15 万年間の古植生変遷
大平深史・山本正伸・竹村恵二・林田 明
- P24 運搬・淘汰作用による河床堆積物の組成改変過程：源岩組成復元法の提示
酒井邦裕・太田 亨
- P26 元素濃度変化からみた大分県別府湾における過去 1500 年間の海底環境変遷
天野敦子・加 三千宣
- P28 大阪平野の表層地質情報から地下構造を推定する試み
櫻井皆生・増田富士雄

- P30 層準が一致しない2つの旧汀線指標一重鈎物平行ラミナと *Macaronichnus segregatis*
小松原純子・下釜耕太・松浦旅人
- P32 完新世バリエーションシステムと海水準変動の復元：北海道東部厚岸沿岸低地の例
重野聖之・七山 太・内田康人・嵯峨山 積・長谷川 健・安藤寿男
- P34 十和田八戸イグニンプライト直上にみられるチャネル埋積型ラハール堆積相
鎌田耕太郎
- P36 複合流ベッドフォームに関する細粒砂実験
沼田慎吾・関口智寛・横川美和・高川智博
- P38 東京都世田谷区および府中市で掘削された上総層群ボーリングコアの堆積相と堆積年代
船引彩子・森谷慈宙・斎藤広隆・濱本昌一郎・小松登志子・竹村貴人
- P40 沖縄トラフの拡大と陸棚の斜面勾配
佐藤智之・荒井晃作・井上卓彦
- P42 2011年東北地方太平洋沖地震によって発生した混濁流の痕跡
新井和乃・成瀬 元・石丸卓哉・横川美和・齋藤 有・村山雅史・松本 弾・佐藤智之・
田中源吾・北沢俊幸・日野亮太・伊藤喜宏・稲津大祐・泉 典洋・三浦 亮・
川村喜一郎・野牧秀隆・亀尾 桂・KT-12-9 & MR12-E02 leg3 乗船研究者
- P44 夕張地域，川端層に見られる炭質物濃集層シーケンス：陸域から深海への直接的物質輸
送の証拠
風呂田郷史・沢田健・川上源太郎
- P46 常磐沖堆積盆地における下部中新統バリエ砂岩の堆積過程
荒戸裕之・小林由季・関めぐみ・中村めぐみ・保柳康一

<口頭発表の部>

【座長：佐藤智之】

- 028 14:00-14:15 揚子江流域河川水同位体比および懸濁物濃度の季節変動
入野智久・斎藤京太・LUO Chao・多田隆治・ZHENG Hongbo
- 029 14:15-14:30 宍道湖底洪水堆積物の級化様式が示唆する河川流量と排出流速の局所的な
不
相関
齋藤 有・増田富士雄
- 030 14:30-14:45 潮汐卓越型開析谷で形成する侵食面の分類
北沢俊幸

休憩（14:45-14:55）

【座長：新井和乃】

- 031 14:55-15:10 清水海岸沖の粗粒ベッドフォームの分布と形成
吉河秀郎・根元謙次

032 15:10-15:25 現世波浪卓越型海岸の外浜域における生痕相

清家弘治・柳嶋慎一・栗山善昭

033 15:25-15:40 熊野トラフ表層における過去約 100 年間の堆積速度変化

白井正明・伊藤拓馬・大村亜希子

休憩 (15:40-15:50)

【座長:江川浩輔】

034 15:50-16:05 ソールマークの発達段階から読み取るタービダイトの堆積過程

石原与四郎・弓 真由子

035 16:05-16:20 サイクリックステップとアンティデューンの特徴

横川美和・武藤鉄司・成瀬 元・泉 典洋・Gary Parker

036 16:20-16:35 密度流によるサイクリックステップの形成条件

成瀬 元・泉 典洋・武藤鉄司・横川美和

＜事務連絡＞ 16:35-16:45

＜最優秀口頭発表賞ならびに最優秀ポスター賞の発表と授賞式＞ 16:45-17:00

休憩 (17:00-17:10)

＜堆積学トーク・トーク＞ 17:10-19:10

会場：北海道大学理学部 5 号館 2F 大講堂

注意事項

＜口頭発表＞

*口頭発表は発表 12 分，質疑応答 3 分です。発表時間を厳守して下さい。

*口頭講演は液晶プロジェクターの使用を標準とします。ただし，OHP が必要な方がおられる場合は用意いたしますので，その旨を必ず 6 月 1 日までに申し込みアドレス宛にお知らせ下さい。会場側でパソコン (Windows, Macintosh) を 1 台ずつ用意します。Windows にはパワーポイント 2010 が，Macintosh にはパワーポイント 2011 がインストールしてあります。口頭発表される方はファイルの入った CD もしくは USB メモリを持参下さい。なお，持参いただくメディアおよびファイルにつきましては，ウィルス対策ソフトの最新定義で事前にチェックを頂きますようお願い致します。ファイルは遅くとも講演前の休憩時間までに会場の PC に直接コピーしてください。心配な方はご自分のパソコンを持参ください。

＜ポスター発表＞

*ポスターは 16 日と 17 日の 2 日間に渡って掲示することができます。ポスター 1 件あたりの展示可能スペースは横 90cm×縦 180cm(縦長)です。ポスターには，必ずポスター番号を記入して下さい。はぎ取りなど重量物の展示を希望される方は，6 月 1 日までに申し込みアドレス宛にお知らせ下さい。

*ポスター発表のショートトークは 1 人 1 分以内でお願いします。液晶プロジェクターを使用して発表する場合，**使用するスライドはタイトルスライド以外に 1 枚でお願いします。**なお講演を円滑に

進めるために、用意して頂いたスライドはあらかじめこちらで1つのファイルにとりまとめます。
6月8日までに講演の申し込みアドレス宛に、パワーポイントファイルを送付いただくようお願い致します。